

## ため池の生物のつながり

初夏のため池では、チョウトンボがひらひらと舞い、岸辺ではカメたちが日向ぼっこをしています。ぼちゃん！トノサマガエルが飛びこんだのでしょうか。ヒツジグサの白い花が、ゆらゆらとやさしくゆれています。

四季折々、わたしたちにさまざまな表情を見せてくれるため池。生き物たちがときにきびしく、互いにかかわり合いながら、せいいっぱい生きる姿。それは感動的であり、私たちの関心を引きつけてやみません。

「食べる、食べられる」「かくれ場所」「産卵場所」などの視点から、利用し合う生物の関係を書き込もう。

●観察日時：

●天 気：

●観察場所：

●気 温：

カエル、オタマジャクシと水生植物との関係



トノサマガエル



ツチガエル



水生植物（コウホネ、ジュンサイ、ヒツジグサなど）が茂るため池  
ため池で観察した別の生物をスケッチして、関係を書き込もう。

カエル、オタマジャクシとトンボ、ヤゴとの関係



クロスジギンヤンマ



クロスジギンヤンマ

ため池とは、なんと多くの生物がくらす水辺環境でしょう。たも網でくうと、トノサマガエルやイシガメ、ヌマエビ、ドンコ、そしてさまざまなヤゴやゲンゴロウ、水生植物の仲間など、たくさんの水生生物をとることができます。これらの関係は、どうなっているのでしょうか。

水生生物は、植物も動物も、互いを利用し合って生きています。ここでは水生生物を代表するカエル、トンボ、水生植物がどのように利用し合ってくらしているのか、調べましょう。

トンボ、ヤゴと水生植物との関係